

平成30年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	10		学校名		県立太田第一高等学校			課程		全日制(単位制)			学校長名		直江 克也				
教頭名	[全日制] 内桶 二郎				[定時制] 柳橋 正雄							事務室長名		田口 佳実					
教職員数	教諭	62	養護教諭	2	常勤講師	2	非常勤講師	3	実習教諭, 実習講師, 実習助手		1	事務職員	4	技術職員ALT等	7	計	85		
生徒数	小学科		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		合計		生徒数		合計クラス数				
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計						
	普通科		142	98	131	107	146	92			419	297	716	1 8					

2 目指す学校像

自主的精神に満ちた、心身共に健康で、社会や国家に貢献し得る有為な人材の育成に努める。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項 目	現状分析	課 題
学習指導	- 課外授業受講登録生徒数、および受講継続生徒数、サテライン講座受講生徒数の維持が望まれる - 国公立大学合格者数の維持・増進を学校全体の目標として掲げる一方、部活動との両立を支援し、多様化する学習環境への対応が望まれる。	- サテライン講座を含め、課外授業をさらに有効に実践するための体制を構築する。 - 現行のシステムを有効活用し、学習サイクルの定着を重視するとともに高大接続改革に対応した学習指導の研究を深める。
進路指導	国公立大学現役合格者が、ここ4年間で3回40人前後となっている。（昨年度は66名合格）年次間の連携を図り、効果的であった方法を学校全体で共有する必要がある。	現1年次からは『大学入学共通テスト[新テスト]』となるので研究対策が必要である。また、全職員が協力して学力向上を図る方策について共通理解を図り、生徒に未来を見据えたキャリアプランをたてさせる必要がある。
生徒指導	- 制服等が乱れた生徒が一部見受けられる。 - 自転車・バイク事故が年間通じてある。	- 正しい服装で、個性を伸ばさせるにはどうするか。 - 交通事故を減らすための安全教育をどうするか。
特活指導	部活動加入状況が前年比で低下(85%→83%)している。学校生活でも文武両道という意識が薄れている。	部活動加入率を上げるとともに、学習と部活動・生徒会活動との両立を目指せる環境づくりをしていく。

4 中期的目標

- (1) 単位制高等学校（全日制）の特色を生かし、学習指導の充実と学力の向上に努める。
- (2) 進路指導を充実させ、生徒の進路希望の実現に努める。
- (3) 基本的生活習慣の確立を図るとともに、自主的・自律的な生活態度の伸長に努める。
- (4) 生徒・教職員・地域住民等による学校評価を踏まえ、学校運営の改善・充実及び開かれた学校づくりに努める。
- (5) 道德教育の充実を図り、豊かな心の育成に努める。
- (6) 新しい教育課程の計画的な策定に努める。

- 【重点項目】
- ア 心の教育の充実・豊かな人間性の涵養
 - イ 単位制の特色を生かした学力アップ
 - ウ 家庭学習の定着と学習時間の確保を目指した指導
 - エ 目的意識の深化等個々の生徒に応じたきめ細かな指導
 - オ 互見授業の積極的な実施と指導力の更なるアップ、アクティブラーニング
 - カ 積極的な生徒理解、家庭との連携、基本的生活習慣の確立
 - キ 特別活動と学社連携の充実
 - ク 情報の共有と臨機応変な判断、充実した学校生活への環境整備
 - ケ 英語力の育成と国際理解教育の推進
 - コ 情報発信と生徒の確保

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
(1) 心の教育の充実・豊かな人間性の涵養	自他の生命を尊重し、他人を思いやる心を育て、豊かな人間性を培う。
(2) 単位制の特色を生かした学力アップ	単位制高等学校(進学重視型)としての特色を生かした学習内容を工夫し、学習指導の充実を図ることで学力の向上に努める。
(3) 家庭学習の定着と学習時間の確保を目指した指導	生徒の主体的な学習意欲を喚起し、家庭学習時間の確保を図る。
(4) 目的意識の深化等個々の生徒に応じたきめ細かな指導	生徒の興味・関心・適性に応じた進路指導の充実に努める。

(5) 互見授業の積極的な実施と指導力の更なるアップ，アクティブラーニング	新学習指導要領を踏まえた教科指導の内容・方法等の研修に積極的に関わり、指導力の向上に努める。
(6) 積極的な生徒理解，家庭との連携，基本的生活習慣の確立	生徒理解をとおりして，生徒の個性の伸長を図りながら，高校生らしい服装・態度を身につけさせ，望ましい生活習慣の確立に努める。
(7) 特別活動と学社連携の充実	生徒会活動・HR活動・部活動の活性化に努め，地域との連携をはかりながら体験的活動を展開する。
(8) 情報の共有と臨機応変な判断，充実した学校生活への環境整備	危機管理を徹底し，校内外での事故防止と健康・安全で安心な学校づくりに努める。
(9) 英語力の育成と国際理解教育の推進	国際理解を深め，グローバルな視点と国際感覚の育成に努める。
(10) 情報発信と生徒の確保	教育活動の広報体制をいっそう充実させるとともに，生徒の確保に努める。